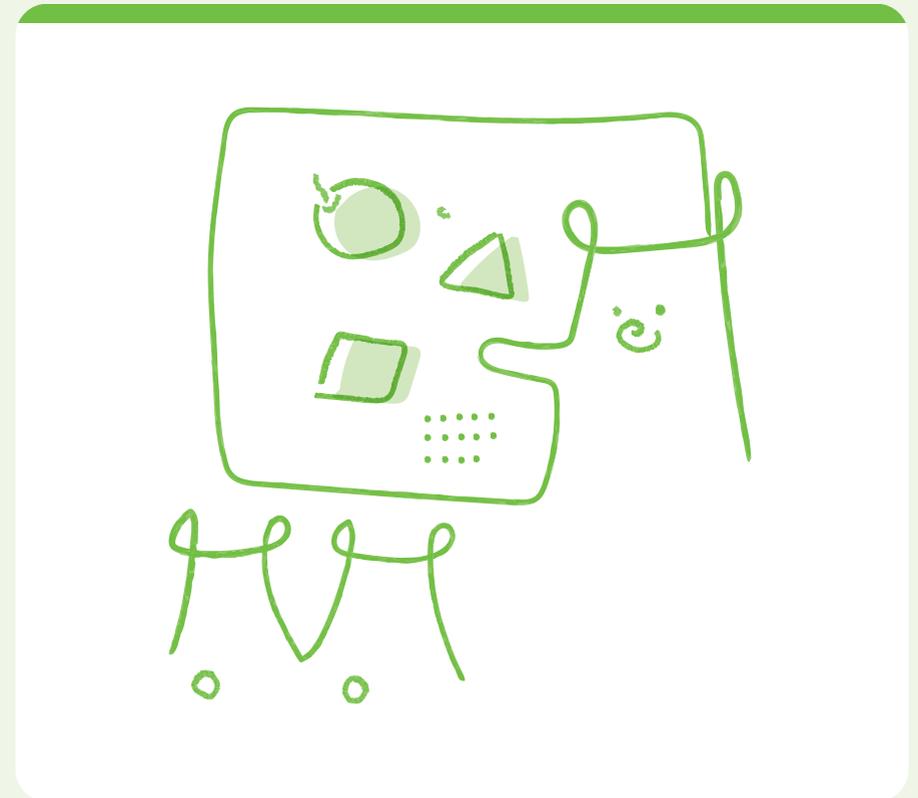


基本目標

5

【教育・生涯学習・文化・スポーツ】

あらゆる世代が交流しながら、
生涯にわたって学び、楽しめるまち



施策

1 学校教育の充実

めざす姿

- 地域や学校の実態、児童生徒の心身の発達の段階や特性を十分考慮し、確かな学力(知)、豊かな人間性(徳)、健康・体力(体)の調和のとれた児童生徒の育成をめざします。

現状と課題

学校教育を通して、変化の激しいこれからの社会を生き抜くための児童生徒の「生きる力」を育てるためには、地域や学校の実態、子どもたちの個性や特性を十分に考慮した上で、知・徳・体をバランスよく育成することが必要です。

そのためには、学習指導要領^{P151}で示された資質・能力を確実に育成するための人材を確保し、研修などにより教員の指導力向上を図る必要があります。また、子どもたちの道徳性を養うための道徳教育、主体性や学びに向かう力を高めるための探究活動や読書活動、体験学習の充実を図ることが重要です。

さらに、ICT^{P156}機器の整備など次世代の教育に対応できる環境を整えるとともに、感染症対策の徹底なども含め、誰もが学校で安心して快適に学ぶことができるよう学校施設の適切な整備・保全を行うことが必要です。



施策の取組方針

取組概要	主な事業
1. 確かな学力をはぐくむ教育の推進 児童生徒の学ぶ意欲を引き出すため、教員の指導力向上を図り、学習指導要領の円滑な実施に向けた組織的・継続的な学力向上の取組を推進します。	・学力調査結果などを活用した指導法の工夫改善の支援 ・外国語指導助手 ^{P151} の活用や研修の充実による英語教育の推進 ・時間外勤務時間の縮減など教職員の業務改善の推進
2. 豊かな人間性をはぐくむ教育の推進 地域と共にある学校づくりや道徳教育などにより、児童生徒の規範意識や他人を思いやる心を育むとともに、体験学習や読書活動を通じて、豊かな人間性や学びに向かう力を育む取組を進めます。 また、児童生徒の不安や悩みに寄り添う相談・支援体制の充実を図り、いじめや不登校などの未然防止や早期発見、早期対応に取り組めます。	・道徳教育の研究成果を生かした授業の改善と充実 ・総合的な学習の時間を中心とした探究学習や体験学習の推進支援 ・読書活動の推進支援 ・ゲストティーチャー ^{P152} を招いての授業の実施 ・いじめ、不登校などの相談や支援の実施
3. 健やかな体をはぐくむ教育の推進 児童生徒の基本的な生活習慣の確立や地元食材を活用した食育を推進し、健やかな体を育みます。	・健康に関する学級活動などの実施 ・地元生産者との給食交流の実施や小学校給食センターを活用した食育の推進
4. 安心、快適な学習環境づくり 学校施設の増築や長寿命化 ^{P154} 改修を計画的に実施し、次世代の教育環境の整備や感染症対策の徹底など、子どもたちが安心かつ快適に学習することができる環境をつくります。	・ICT環境の整備・充実 ・老朽化した建物、設備の改修 ・衛生用品の確保など感染症対策の実施

(分野別計画) 教育ユニバーサルプラン、公共施設個別施設計画、国土強靱化地域計画

成果指標

成果指標	現状値	令和8年度目標値 (5年後)	[参考]令和13年度目標値 (10年後)
「勉強が好きだ」と答える児童生徒の割合	小6 67.9% 中3 57.2%	小6 70.0% 中3 60.0%	小6 75.0% 中3 65.0%
「自分にはよいところがある」と答える児童生徒の割合	小6 77.1% 中3 79.9%	小6 80.0% 中3 80.0%	小6 85.0% 中3 85.0%
全国体力・運動能力調査の結果	小5 51.9% 中2 49.9%	小5 52.5% 中2 51.0%	小5 53.0% 中2 51.5%

めざす姿に向けて…

- ▶ **市民に期待すること**
 - ・PTA活動への積極的な参加や家庭教育の充実に取り組む。
- ▶ **市民と行政が協働で取り組めること**
 - ・ゲストティーチャーとしての参加や、場所・機会・資源の提供など、地域との連携による授業に協力する。
- ▶ **関係人口(野々市ファン)拡大に向けた取組**
 - ・県外への進学や就職後も野々市市との関わりを持ち続けたいと感じてもらえるように、子どもたちが地域の人のつながりの中でさまざまなことを学ぶことができる機会をつくる。



タブレットPC活用授業



総合的な学習の時間(台湾との交流授業)

施策 2) みんなで取り組む 青少年の育成



めざす姿

- 未来を担う「ののいちっ子」の生きる力の育成に向け、子どもたちの学びにおける探究課題やさまざまな生活上の課題について、家庭・地域・学校が一緒になって取り組もうとする風土の醸成をめざします。
- 地域の企業やNPOなどさまざまな団体と連携し、地域全体で子どもたちの成長を見守り、支える環境を整えます。

現状と課題

情報化社会の進展や地域のつながりの希薄化など、社会の変化に伴って子どもたちを取り巻く環境も日々変化しており、子どもたちの健やかな成長を関係者が連携して支えていく必要があります。

そのためには、学校は地域住民や保護者と力を合わせて学校運営に取り組むとともに、家庭や地域は必要な人材や資源を学校に提供するなど、学習活動に積極的に参画することで、学校と地域が一丸となって子どもたちの成長を促していくことが求められます。

学校外での教育を家庭だけに任せるのではなく、地域のボランティア活動への参加などを促すとともに、家庭の教育力を高める働きかけを行い、地域全体で子どもを見守る環境をつくる必要があります。

また、少年育成センターの活動の充実を図るとともに、“ののいちっ子を育てる”市民会議をはじめとする青少年健全育成団体などと連携を図りながら、地域の教育力を高めていくことが重要です。



放課後子ども教室(ネイチャーゲーム)



愛と和 ののいち5万人あいさつ運動

施策の取組方針

取組概要	主な事業
1. 地域と共にある学校づくり 学校を中心とした地域との協働の取組を通じて、学校と地域が一体となって子どもたちを育む風土づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校の応援団」による地域と学校の連携 ・コミュニティ・スクール^{P152}による地域と協力した学校運営
2. 青少年の健全育成 子どもたちの安全・安心の確保に向けた取組を進めます。また、ボランティアなどの活動を通じて子どもたちの社会参加を促します。	<ul style="list-style-type: none"> ・街頭巡視活動 ・青少年ボランティア団体の活動支援
3. 学び合う、支え合う地域社会づくり 子どもたちの豊かな育ちの支援と、家庭の教育力の向上のために、さまざまな学習機会を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級 ・放課後子ども教室 ・愛と和 ののいち5万人あいさつ運動 ・子どもと大人のまちぐるみ美化清掃 ・ノーネット・ノーゲーム・ノーテレビデーなど家庭生活の健全化の取組の実施

(分野別計画) 教育ユニバーサルプラン

成果指標

成果指標	現状値	令和8年度 目標値 (5年後)	[参考]令和13年度 目標値 (10年後)
街頭巡視活動の参加率	88%	90%	90%
青少年ボランティア登録者数	25人	33人	40人
ノーネット・ノーゲーム・ノーテレビデーの認知率	76%	78%	80%

めざす姿に向けて…

- ▶ 市民に期待すること
 - ・子どもたちの見守りなど、積極的に地域活動に参加する。
- ▶ 市民と行政が協働で取り組めること
 - ・さまざまな取組や活動を通じて、地域の子どもたちを地域の力で育てるという意識を醸成する。
- ▶ 関係人口(野々市ファン)拡大に向けた取組
 - ・地域が一体となって児童生徒の育成に取り組んでいる好事例について積極的に発信する。



施策 3 生涯学習の充実



めざす姿

- 市民の誰もが生涯を通じて学ぶことができる機会や環境の充実をめざします。
- 学びを通じた世代間交流や相互に学び合う機会を拡充し、学びの成果が地域の活性化につながるまちをめざします。

現状と課題

学びは生涯を通じて人生を豊かに彩り、生きがいとなり得る要素であることから、「いつでも」「どこでも」「誰でも」自由に学習することができ、そして、学んだ成果を活用することができる環境を整えていくことが重要です。

各地区にある公民館は、誰もが利用できる学び・活動の場となる拠点ですが、メンバーの固定化や高齢化に悩むサークルが多く存在しています。このような状況にあるサークル活動の活発化を図るためにも、若者を含め、広く市民に活動内容を発信する場を設け、興味を示した市民を引き込む仕掛けをつくり、また、若者から高齢者まで世代を超えて交流し、学び合う機会につなげることが必要です。

また、デジタル化^{P154}の進展に対応するため、新しい技術を活用した学びの機会をつくることも求められます。

施策の取組方針

取組概要	主な事業
1. 多種多様な学びの機会の提供 市民の希望や時代の要請に合わせた、多様な内容に触れられるプログラムを設け、時間や空間にとらわれず、「いつでも」「どこでも」「誰でも」学べる機会の創出を進めます。	・幅広い内容の学習講座の開催 ・ICT ^{P156} ツール、SNS ^{P156} などを活用した講座や学びの機会の創出 ・電子図書館の充実
2. さまざまな世代の社会参画と交流機会の提供 若者や高齢者を含む全ての人々が地域の課題解決に主体的に関わり、さまざまな世代との交流を持ち、共に高め合うことができる機会を提供し、地域の活性化につなげます。	・若者と高齢者が互いに得意分野で能力を発揮できる行事や、知識を伝え合う講座の開催
3. 生涯学習施設の利用促進	・市民のニーズに対応した施設の運用の改善 ・施設利用における利便性などのPR ・施設のICT環境の整備

(分野別計画) 教育ユニバーサルプラン、子ども読書活動推進計画

成果指標

成果指標	現状値	令和8年度目標値 (5年後)	[参考]令和13年度目標値 (10年後)
市立図書館貸出冊数(電子書籍含む)	533,094冊	631,000冊	676,000冊
生涯学習施設における 主催行事の開催数	114回	152回	160回
公民館、女性センター、 市民学習センター利用者数	94,213人	190,000人	200,000人

めざす姿に向けて…

- ▶ **市民に期待すること**
 - ・公民館などで行う講座に興味を持ち参加する。
- ▶ **市民と行政が協働で取り組めること**
 - ・地域のさまざまなスキルを持った人の協力を得て催しなどを行う。
- ▶ **関係人口(野々市ファン)拡大に向けた取組**
 - ・カレードやカミーノなどの魅力ある生涯学習環境や、大学との連携などによる充実した生涯学習の機会があることをアピールする。



公民館のサークル活動



公民館でのICTツールを活用した講座

施策 4 文化活動の充実



めざす姿

- 市民が生きがいや心の豊かさを実感できるよう、日頃から、野々市市の歴史・文化・芸術に親しむ機会や文化活動に参加できる機会の充実をめざします。
- 市内の伝統文化や文化財の保護・保全を行うとともに、市民が文化施設を利用しやすい環境を実現します。

現状と課題

文化芸術は、想像力豊かなひとづくりと元気あるまちづくりには欠かせないものであり、市民が普段から身近に感じることができる環境をつくっていくことが重要です。

そのためには、文化会館フォルテなどの文化施設を活用し、芸術を鑑賞する機会や、市民参加型の催し物の開催、文化芸術事業の充実など、市民が日頃から文化芸術活動に親しむ機会を創出する必要があります。

また、野々市市が先人から受け継いできた文化財や伝統文化を次世代に伝えるため、文化財や史跡、伝統文化の調査・保存を進めるとともに、それらを活用していく必要があります。

施策の取組方針

取組概要	主な事業
1. 市民文化・市民芸術の活性化 さまざまな文化芸術の事業を実施し、多くの市民に参加してもらうことで、文化芸術に関わる人材のすそ野を広げ、文化力の向上を図ります。	・市美術展の開催 ・芸術鑑賞事業 ・市民文化活動の紹介
2. 文化財と文化資産の保全・再整備と活用 市内の文化財について、調査研究を重ねることでその魅力を高めるとともに、その成果を広く周知して市民の関心を高め、文化資産の活用を進めます。	・喜多家住宅の保存活用 ・末松廃寺跡再整備事業 ・御経塚史跡公園の活用 ・古代体験、歴史展、講演会など、文化財の普及啓発

(分野別計画) 教育ユニバーサルプラン

成果指標

成果指標	現状値	令和8年度目標値 (5年後)	[参考]令和13年度目標値 (10年後)
美術展来場者数	1,856人	2,150人	2,500人
のいち椿まつりの来場者数	2,520人	6,500人	6,500人
文化財施設利用者数	4,309人	9,700人	10,000人



市美術展

喜多家住宅

めざす姿に向けて…

- ▶ **市民に期待すること**
 - ・市や団体などが開催する文化芸術事業に興味を持ち、積極的に参加する。
- ▶ **市民と行政が協働で取り組めること**
 - ・文化財の効果的な活用のため、関係団体などと連携して事業に取り組む。
 - ・子どもたちに野々市市の歴史や伝統文化を伝え、学ぶ機会をつくる。
- ▶ **関係人口(野々市ファン)拡大に向けた取組**
 - ・周辺自治体と美術展・音楽祭などを共同開催する。
 - ・ホームページなどで、野々市市の歴史や伝統文化について情報発信する。

施策 5) スポーツ活動の充実



めざす姿

- 誰もが気軽にスポーツに親しみ、生涯にわたり健康的な体づくりができる機会の充実をめざします。
- 幅広い世代の市民が、スポーツイベントやスポーツ団体の活動への参加、プロスポーツ選手との交流などを通じ、人と人とのつながりを育むことができるまちをめざします。

現状と課題

スポーツは、人生をより豊かにし、充実したものとするとともに、心身の健康の保持や増進につながるほか、娯楽や交流の場としても重要な役割を担っています。

そのため、年齢、性別、障害の有無にかかわらず、生涯にわたりスポーツに取り組むことやスポーツを観戦することなど、「いつでも」「どこでも」「誰でも」「いつまでも」スポーツを楽しめる環境づくりを関係団体と連携して、より一層進めることが重要です。

また、スポーツ活動を野々市市全体でさらに盛んにするために、スポーツ団体のさらなる活性化も必要です。スポーツ少年団や、アスリートの活動を支える体育協会加盟団体の活動強化に向け、競技人口の増加や指導者の確保・育成などを今後も行っていくことが求められます。



野々市じよんからの里マラソン大会



トリプルソフトバレー大会

施策の取組方針

取組概要	主な事業
1. 生涯スポーツの普及と振興 全ての市民が生涯にわたりスポーツを楽しみ、健康的な心と体づくりを行えるよう、気軽に参加でき、スポーツを楽しめる機会を提供します。	・スポーツフェスティバル、マラソン大会などのスポーツイベントの開催 ・ニュースポーツP154普及事業 ・スポーツを行うきっかけとなる各種教室の開講 ・県内プロスポーツチームとの共催事業
2. スポーツ団体の育成 野々市市のスポーツ競技人口の増加を図るため、スポーツ少年団、体育協会の活動を支援するとともに、指導者の育成や、大学、プロスポーツチームとの連携による競技力の強化を図ります。	・スポーツ少年団や体育協会の活動への支援 ・スポーツ指導者の育成 ・石川県民体育大会への選手出場の支援 ・大学やスポーツチームとの連携事業
3. スポーツ施設の利用促進と整備 誰もが安全・安心にスポーツを楽しめるよう、スポーツ施設の利用促進のための取組や、施設の適切な維持管理・整備を進めます。 また、スポーツ施設の老朽化への対応を進めるとともに、スポーツ人口の増加やスポーツ需要の多様化に対応するため、新たなスポーツ施設の整備を行います。	・スポーツ施設の修繕や改修 ・体づくりからプロスポーツまで、幅広い活動が可能となる新たなスポーツ施設の検討・整備

(分野別計画) 教育ユニバーサルプラン

成果指標

成果指標	現状値	令和8年度目標値 (5年後)	[参考]令和13年度目標値 (10年後)
野々市市認定スポーツクラブの会員数	916人	1,000人	1,100人
市立の体育施設利用者数	389,999人	405,000人	420,000人

めざす姿に向けて…

- ▶ **市民に期待すること**
 - ・健康づくりや競技力の向上に向け、自主的にスポーツ施設を活用し、スポーツを楽しむ。
 - ・市や各種スポーツ団体が主催するイベントに積極的に参加する。
- ▶ **市民と行政が協働で取り組めること**
 - ・県内のスポーツチームと連携し、スポーツへの関心を高める取組を行う。
 - ・スポーツフェスティバルやマラソン大会などの各種事業に協力して取り組む。
- ▶ **関係人口(野々市ファン)拡大に向けた取組**
 - ・市主催のマラソン大会における市外ランナーの参加増加を図るため、日本陸上競技連盟公認コースの認定を取得し、イベントの魅力度、知名度を向上させる。
 - ・さまざまなスポーツ競技の大会などを通じて野々市市の魅力をアピールする。